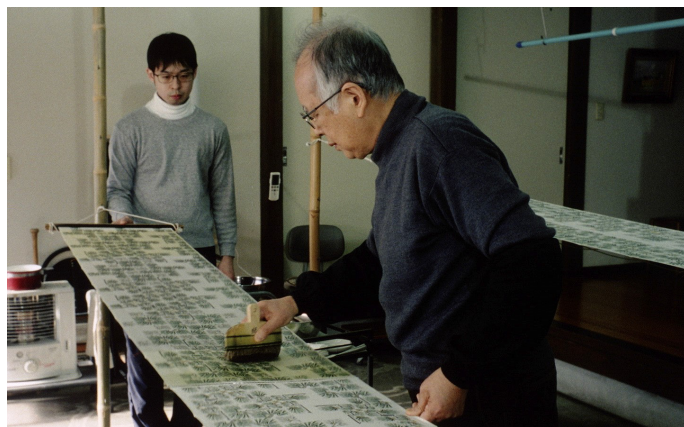


木版摺更紗 | 鈴田滋人のわざ

2023
作品ナンバー1356

文部科学省特選 2023年教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞
映文連アワード2023ソーシャル・コミュニケーション部門優秀賞
2023年キネマ旬報文化映画ベスト・テン第6位

鈴田滋人（すずたしげと）は、2008年（平成20年）重要無形文化財「木版摺更紗」の保持者（人間国宝）に認定された。
映画は、木版摺更紗着物（もくはんずりさらさきもの）『緑寿（ろくじゅ）』の制作工程を記録し、そのわざと人となりを描く。



佐賀県鹿島市生まれの染織家・鈴田滋人は、身近な植物や故郷の佐賀の自然を題材として作品を作ってきた。

近世初頭、インドで生まれた「更紗」が日本に伝わると、その鮮烈な印象を模倣すべく、各地で「和更紗」が作られるようになる。中でも「鍋島更紗（なべしまさらさ）」は、技術・文様ともに優れたものとして名高いが、その技法は長く秘められていた。

鈴田は、「鍋島更紗」の制作技法の研究と復興に力を注いだ父・鈴田照次（てるじ）の跡を継ぎ、木版と型紙を併用する木版摺更紗の技法を発展させ、独自の作風を確立した。

本作で鈴田は、自宅の庭に育つ松を題材に、4種類の版木と多様な色差し用の型紙を用いて、松の葉や枝に宿る生命力を表現している。スケッチから始まるその制作工程を丹念に追い、手仕事による技術を記録した。

記録
フィルム
カラー／35分
日・英語版

- 企画
文化庁
- 協力
国立工芸館
東京国立博物館
佐賀県立博物館
鹿島市教育委員会
鹿島市のごみふれあい楽習館 浄土真宗
本願寺派正教寺

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 脚本・演出
井手洋子
- 演出助手
細矢知里
- 撮影
藤原千史
- 撮影助手
鈴木一朗 今野聖輝
邊母木伸治
- 照明
野本敏郎
- 照明助手
池田義郎 小岩 強
- 録音
藤林 繁
- 効果音
帆刈幸雄
- タイトル
津田輝王 関口里織
- 編集
石井香奈江
- ネガ編集
幸地甫之
- 音楽
芳賀一之
- 録音スタジオ
アオイスタジオ
- 現像
IMAGICA EMS
- 語り
柄本時生